

取り組みの方向性 ③-A 子供たちに身近な場で地産地消を実践します
 具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

事業名	保育所給食における地場産物の活用推進
実施保育所	子供未来局保育部保育課 南小泉保育所
ねらい	地域の契約農家の畑で野菜を収穫し食べる
取組内容	<p>南小泉保育所の周りには農家が点在しており、保育所に通う道々の畑にはたくさんの野菜が育てられています。</p> <p>伊藤さんの畑は保育所から 200 メートル位の所にあり、昨年秋頃から 1 才児の散歩コースとして時々出かけていました。</p> <p>挨拶をしたり野菜を見せてもらったり、自宅前の販売店を見学させてもらったりするうちに、この新鮮な野菜を子ども達に食べさせてもらうことはできないものかと思い、保育所給食の契約を依頼してみたところ、快く引き受けてもらいました。</p> <p>昨年 1 2 月から当保育所との契約が始まり、野菜の一部を届けてもらっています。</p> <p>今回は食育活動の一つとして、野菜の収穫から調理までの過程を知るというねらいで取り組みました。</p> <p>子ども達は、野菜の成長を観察し、収穫した後土を洗い流し、給食室へ届けるという活動を通して、食材への親しみと収穫の楽しさや大変さ、そして、自分達が収穫した食材を食べる喜びを経験しました。食べるまでにはいろいろな仕事があることや、野菜はすぐにはできないことなど学ぶきっかけになりました。</p> <p>5 月 19 日（5 月の食育の日） 参加人数は 5 歳児 21 名でした。</p>  <p>農家の方に教えてもらいながら一人約 5 株ずつ収穫しました。</p>  <p>保育所に運んできて土を洗い流しました。</p> <p>このかぶは、翌日漬物にしてお昼の給食にみんなで食べました。次回はじゃがいも掘りの予定です。</p>